

ご存知ですか？

認知症予防に 歩行が効果的

無理のない
速度での歩行で
認知症予防!!

東京都健康長寿医療センターの研究で
少なくとも1週間に90分以上(1日約15分)
歩く人は認知機能がよい事がわかりました。

しかし

介護事業所では1回20分間の
機能訓練が行われていますが
週2回の利用でも90分にはなりません。

そこで

アルケルを装着すれば
転倒リスクが減少し、
利用者自身が安心して
歩行練習することが可能です。

安全に
自主トレーニングできるので
見守りレベルの
介助でOK!!

歩行器補助シート



アルケルで
歩行練習も安心!!

京都認定商品(チャレンジ・バイ認定商品)

歩行器補助シートRKL「アルケル」は京都府認定商品です。一般商品との差額の1/2以内が助成されます。

RKL Rehabilitation
with Kindly Love
<http://www.rkl.jp>



歩行器補助シート

アルケルで歩行練習も安心!!

アルケルとは・・・

介護負担軽減のために理学療法士が考案した介助用品

アルケルは汎用の歩行器に装着するだけで転倒リスクを防止できる、歩行器補助シートです。下肢筋力の低下、バランスが不安定などの理由で歩行が不安定な方の歩行練習補助具として、より安全にご使用いただけます。

□実用新案登録3204701号
□商標登録5773966号



転倒リスクを防止!!

だから歩行器利用者、介護従事者、双方が安心!!



アルケルが介護現場で必要とされる理由

理由1 介護職員の介護負担を軽減し、職場定着を支援します。

これまで歩行介助が必要だった利用者が歩行の自主トレーニングをしている間、他の業務にも手がまわり、介護職員の負担を軽減します。

理由2 サービス利用者の安全確保と機能訓練の効果を向上します。

介護サービス事業所の事故で発生件数が最も多いのは「転倒」です。また転倒による骨折が要介護度を悪化させています。アルケルは転倒リスクを防止するほか、転倒予防の「後ろ歩き歩行練習」が可能となります。転倒リスクが少なくなるため利用者も安心して歩けます。

歩行は、なぜ認知症予防につながるのか？

地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター
老化脳神経科学研究チーム 自律神経機能研究 堀田晴美 先生

歩行と脳の高次機能

高齢者では、「寝たきりになると認知症になりやすい」といいます。その逆に、「よく歩くと認知症になりにくい」ことが最近の研究によってわかってきました。たとえば、70～80歳の女性の認知機能テストの成績と日頃の運動習慣の関係を調べた研究によると、日頃よく歩く人はテストの成績が良く、少なくとも1週間に90分(1日あたりにすると15分程度)歩く人は、それ以下の人より認知機能が良いことがわかっています。

脳の働きに欠かせない血流とアセチルコリン

脳が正しくはたらくためには、絶えず十分な血液が流れている必要があります。脳の働きを担う神経細胞は、血流不足にとっても弱く、再生能力もありません。高齢者やアルツハイマー型認知症患者では、大脳皮質や海馬(記憶などの高次機能を司る部位)で脳血流の低下がみられます。この大脳皮質や海馬には、大脳の奥から伸びてきてアセチルコリンという化学物質を放出する神経(アセチルコリン神経)が来ています。

無理せずゆっくり歩く

ラットを使った実験では歩く速さを、「遅い」「普通」「速い」の3段階に分けて、それぞれ30秒間歩かせてみます。すると、いずれの速さで歩いても、歩行中の海馬血流が増加しました。海馬の血流は、歩行開始直後から増えはじめ、歩行をやめると徐々に元に戻ります。「普通」の速さで歩いた時に海馬のアセチルコリン量を調べると、増えることがわかりました。つまり、血圧があまり上がらない程度の無理のない歩行を行うと、海馬のアセチルコリンが増え、海馬の血流が良くなるのです。興味深いことに、老齢のラットでも、若いラットと同様の結果が得られました。無理せずゆっくり歩くことは、年齢に関係なく脳の血流を増加させるのです。

地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センターWEB
「歩行は、なぜ認知症予防につながるのか?」より一部抜粋

京都認定商品 (チャレンジ・バイ認定商品)

歩行器補助シートRKL
「アルケル」は京都府認定商品です。

チャレンジ・バイとは

京都府が京都府内中小企業の優れた新商品・新サービスを公表・PRし、府庁での率先購入・活用枠の設定その他販売促進を強力に支援する制度で一般商品との差額の1/2以内が助成されます。

お問い合わせは・・・

京都府商工労働観光部
ものづくり振興課
TEL: 075-414-5103

アルケルの
お問い合わせは

RKL
Rehabilitation
with Kindly Love

株式会社 RKL

〒610-0332 京都府京田辺市興戸地藏谷1番地
同志社大学京田辺キャンパス業成館 D-egg 311号室
TEL:080-4015-9943 FAX:075-320-1522 <http://www.rkl.jp>